

# ひだまり

新年あけましておめでとうございます。本年も何卒ご支援賜りますようお願い申し上げます。

今日、措置から契約への移行など、福祉サービスの供給のあり方が変化する中、地域福祉の中核的な担い手である社会福祉法人は、効率的、効果的な経営を実践して、利用者のさまざまな福祉ニーズや、制度の狭間にある、多様な生活課題に積極的に対応していくことが求められています。

特に、福祉ニーズは多様化・複雑化しており、高い公益性を備えた、社会福祉法人の役割はより重要なものとなっております。

平成二十八年三月三十一日に改正社会福祉法が成立し、すべての社会福祉法人に事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的な取組の責務等が求められることとなりました。

平成二十九年四月一日施行事項への対応は、現行理事会を早期に開催し、定款変更等を協議し、定款の変更申請・認可を必要とされ、次に評議員の選任へと、着実に進め、四月から新制度が開始へと順次進めていきます。

改正社会福祉法のスタートに併せ、制度改革に至る経過を熟慮断行し、今何

**発行所**  
**聖和福祉会**  
**聖愛園**  
〒519-2211  
三重県多気郡  
多気町丹生4701  
TEL 0598-49-3115  
FAX 0598-49-3783

**サニープレイス**  
〒515-0052  
三重県松阪市  
山室町2580  
TEL 0598-30-5585  
FAX 0598-30-5586

新年あけましておめでとうございます。聖愛園の利用者さんは元気に新年を迎えられました。本年も利用者さんに寄り添った支援を目指して行きます。どうぞよろしくお祈りいたします。  
聖愛園 職員一同

が問われているか、社会福祉法人が目指すものとはなど：利用者と提供者の対等な関係の確立、個人の多様な需要への地域での総合的支援、幅広い需要にこたえる多様な主体の参入促進、信頼と納得が得られるサービスの質と効率性の向上などが主眼点・目的であり、着実に展開していかねばなりません。

社会福祉法人の経営組織をまとめ、社会経済の発展、国民生活の変容や福祉の理念など、社会の現状に即応した事業の展開、評議員・理事・監事のそれぞれの役割、権限の明確化、義務と責任、経営組織の在り方の見直し、今までの以上に運営の透明性の確保、適正かつ公正な支出管理も重要となります。

他法人との連携・協働による、地域の福祉ニーズへの対応も出てまいります。

関係各位の皆様方の今後益々のご理解とご協力をお願いし、新年のご挨拶と致します。

本年の皆さまのご多幸を心よりお祈りいたします。

社会福祉法人 聖和福祉会  
理事長 山岡 隆



## あけまして おめでとうございます



## 利用者さんごとの過ごし方日々の中で

早いもので聖愛園に勤めて三度目の冬を迎えました。保育、老人介護の職務を経て、障がい者支援の道へと進みましたが実際に現場へ入ってみると、意思疎通を会話で図る事が難しい利用者さんが多く、想いを汲み取れない」と自身の不甲斐無さに落ち込み悩みました。それでも日々「優しい心」で傍に寄り添い接する事により、少しずつコミュニケーションが取れるようになって利用者さんのお役に立てる存在へ成長する事が出来たと思います。

一年が過ぎ、社内では中堅職員と呼ばれるまでになりましたが初心を忘れず、聖和福祉会の理念の一つである「常に人のため限りなき優しい心」を持ち支援にあたっていきます。

当園では、利用者さんの年齢と共にADLに何らかの介助を必要とする方が増えてきました。長年の老人介護で培った知識と経験を活かし、利用者さんが今後も安心して健やかな毎日を過ごせるよう努めて参ります。



生活支援員 村田佐織



## 私の仕事

大生の価値は、他の誰かの為にどれだけのことができたかに尽きるかもしれない」と、ある日私の叔父がつぶやきました。先日定年退職を迎えたばかりの叔父のその言葉が何故か心に残っています。

大生とは何だろう」と時々考えます。それぞれに与えられた「道」をイメージすることが多いのですが、それだけだと少し寂しいので、私は「その道を皆が支え合いながら一緒に歩いているのだ」と考えるようにしています。

叔父の言葉には反論もできません。寝たきりで、動くこともできず、何もできない人は誰かの為に何かできるのか。その人生に価値はあるのか。私はこう答えます。たとえば周りの人はその人に接することで、この人の為に何かできないだろうか、と、きつと優しい気持ちになれる。それはとても価値のある事だと思えます。

私達の生命は風の音のようなもの。生まれ、響き合い、消えていく」

ある映画監督が作品の中で語った言葉です。私達は響き合いながらいつか消えていく。そんな私の仕事は障害を持つている方の支援をすることです。叔父が言う、人にどれだけの事ができたかを問われる仕事です。人生の価値に直結する仕事かもしれない。私達は(自分も知らない内に)誰もが誰かの人生の同行者であり、そこには支援する側、される側という垣根はないのではない。共に支え合い、響き合いながらそれぞれの道を行く。共に生きる喜び」はそこにあると思ひながら、今日も私は一路聖愛園に向かうのです。

サービス管理責任者

若井 芳昭



# 日帰り旅行

今年も九月六日、七日に「泊旅行を実施しました。今年も行き先は愛知県蒲郡市の遊園地「ラグーナテンボス」と豊橋市の動植物公園「のんほいパーク」をメインに、足を延ばしてきました。

一日目のラグーナテンボスではアトラクションや、同施設のフラワーガーデンの花々を觀賞して楽しんで頂き、宿泊先のホテルでは美味しい料理や、三河湾を一望できる露天風呂を皆さんで満喫しました。そして、夜はカラオケ大会で大盛り上がり、愉快なひと時を過ごしていただく事ができました。

二日目に向かったのんほいパークでは、自然史博物館にある大きな恐竜の化石を「大きいね」と皆さんで見上げて見学してきました。一日間天候にも恵まれて、素敵な思い出を作ることが出来たと思います。これからも心に残る旅行を企画していきたいです。

生活支援員 堀井亜弓



## 新任あいさつ

昨年の三月から、聖愛園で生活支援員として勤務させて頂いている西田といいます。早いもので、十ヶ月が経ちました。以前より福祉の仕事に興味があり、研修を受け勉強をしていました。最初は、自分に支援員の仕事が務まるのかという不安もあり、戸惑う事ばかりでしたが、先輩職員方の丁寧な指導のおかげで、少しずつではありますがありますが、日々学びながら支援に取り組んでいます。

利用者さんの中でも意思疎通の難しい方やジェスチャーで訴える利用者さん等、様々な方がみえます。日々の業務の中で、一人ひとりコミュニケーションを図りながら、利用者さんに沿った支援が出来るように、試行錯誤を重ね支援に携わっていきたくと考えています。

まだまだ至らない事が多くありますが、利用者さんに笑顔で安心して頂ける様、日々の支援を大切に取り組んでいきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひします。

生活支援員 西田和矢



## 栄養便り



感染症から身を守るために、特に活躍する栄養素を目的別に紹介します。

1、粘膜を強くする 亜鉛・ビタミンA  
粘膜の生成や働きを助け、鼻や喉から入ってくるウイルスを撃退します。

☆亜鉛：牛肉や豚肉の赤身・牡蠣等  
☆ビタミンA：鰻・人参・南瓜等

2、免疫系の働きを高める ビタミンC・ビタミンD  
身体の中に入ったウイルスを撃退する。ビタミンDは、近年インフルエンザ予防として注目されています。

☆ビタミンC：みかん・イチゴ等  
☆ビタミンD：魚・干しいたけ等

3、疲れにくくウイルスに負けない体を作る  
「ビタミンB群」

ウイルス感染によるストレスを軽減し、脳や神経・皮膚・粘膜などの健康を保ちます。

☆：ほとんどのビタミンBは、豚肉や魚、種実類などに多く含まれています。

身体の調子を整えておくと、感染症にかかりにくくなるだけでなく、かかってしまった時にも、比較的症状が軽く、回復しやすくなります。栄養をしっかりと補給し、ウイルスに負けない冬を過ごしましょう。

栄養士 羽根めぐみ

## ほけん便り

前回のテーマに引き続き、ストレス対処法についての具体策を挙げたいと思います。

①適度に運動する：ウォーキング(足からの刺激で脳のストレス解消となる)・ストレッチング・ラジオ体操など  
②リラクゼーション法を身に付ける：音楽を聴く、香りを楽しむ、ユーモアを持ち、笑い癖をつける・腹式呼吸を意識して行う。

③趣味を持つ  
④嫌なことは「NO」と言える勇気を持つ：内にためずに、言葉に出してみる・日記を書くなど

⑤親しい人達のネットワークを作る：友達・家族・同僚・上司など(話す・聞く・共に笑う・食事をするなど)

⑥仕事の壁にぶつかったら、上司や同僚に相談する。仕事のオンとオフをうまくチェンジするなどです。

ストレスは、一度に全部出そうと思わず、5%~10%出すことが出来ればOKです。ストレスは、打ち勝つものでも立ち向かうものでもなく、毎日上手にやり過ごす事が脳のストレスを出す方法の事です。

聖愛園の利用者さんの中には、このストレスを上手に発散する事が出来ずに、パニック、自傷、不眠などの症状が現れる場合があります。これらの症状を早期発見し、薬に頼る事無く、その人に合ったストレス対処法で支援していきたいと思えます。

最後になりますが、私のストレス対処法は脳ストレス対処法を取り入れ、愛犬と毎日朝と夜に一時間かけて歩き、身体の調子を整える事です。悩んだら歩く、迷ったら歩く、つらくなったら歩く事を実行し身体と心に筋肉をつけたいたいと思います。皆様も自分に合ったストレス対処法にチャレンジしてみましよう。

看護師 木下明美



# 聖愛園 クリスマス会

毎年恒例となっているクリスマス会を今年度は、十二月十一日に行いました。保護者、ボランティアなど、たくさん参加して頂き、楽しいひと時を過ごしてもらえたのではないかと思います。利用者代表によるハーモニカ演奏やダンス等の出し物もあり、積極的に楽しまれて利用者もおられました。今回も二つの団体にきて頂き、場を盛り上げて頂きました。コーラスグループのコールアベクブさんには、綺麗な歌声をたっぷり聞かせて頂き、バンドグループのはっぴー7さんには、軽快なサウンドと歌を披露して頂きました。

そしてケーキ、プリンなどのお菓子を頂き、プレゼントをサンタから受けとり、和やかなうちに終了となりました。何事におきましても、回を重ねるごとに洗練され、より良いものになっていくのだと思います。今後とも職員一同、行事・支援等頑張っていきたいと思っております。

生活支援員 奥野哲也



今回も元気いっぱい素敵なダンスを披露してくださいました！



日々練習を重ね演奏を披露して下さった利用者さんには拍手が上がっていました。



ご家族との楽しいひと時に笑顔いっぱいの利用者さん！クリスマスプレゼントにも喜んで下さいました！



素敵な歌声と演奏で楽しませて下さった、コールアベクブの皆さん、はっぴー7の皆さん有難うございました！



# 公益な取組「ひきこもり相談支援事業」

新年あけましておめでとうございます。  
平成二十八年四月一日付で社会福祉法が大きく改正され、平成二十八年年度からすべての社会福祉法人に地域における公益的な取組を実施する責務が課せられました。平成二十八年度末までに、定款を改正し、二十九年度から理事の役割、評議員の立場が変わりますので、その準備に追われている昨今でございます。

さて平成二十八年度から取組まなければならぬ地域における公益的な取組について、我が法人の身の丈に合うものは何かといういろいろ考えました。

私は以前から、それぞれの事情により、ひきこもりをされている人が多数いるということに憂慮しておりました。本人も家族も大変悩んでおられるのではないかと、周囲の方々もなす術もなく、時が過ぎていくというのが実情ではないかと思っています。我が法人は、過去に何度かこの取組みを模索しましたが、なかなか本人の心の内に入って行く事ができませんでした。

この度、社会福祉法の改正で公益的な取組をする責務が課せられたことに背中を押され、かねて試みたひきこもり相談支援事業を無償で実施させていただくことに致しました。こうした取組をしていくことが、社会福祉法人に求められているのであり、それを実施していくことに喜びを感じております。

しかしながら、大変難解なことに取組む事になると認識しています。

私たちには、ひきこもり支援に対して、特別な知識も技術も持ち合わせていません。本人と話が出来るまでには長い月日がかかると思っています。焦ってはいけません。家族や、本人との人間関係を築き、心の支えになることから始めていきたいと思っています。

世の中には、ひきこもりや不登校、ニートと呼ばれる方が多くいます。すでに支援の取組みをされておられる方もみえると思いますので支援技術の向上のためにも情報交換やご指導を仰ぎ、ともに支援の輪を拡げていきたい行きたいと思えます。

どうぞ、ご連絡をお待ちしております。本年も皆様様にとって良いお年でありますようにお祈りいたします。

聖愛園施設長

聖和福祉会相談センター管理者

戸野和雄



御厚情深く御礼申し上げます

自平成二十八年七月十五日  
至平成二十九年 一月七日

ご芳志ご芳名 敬称省略)

保護者会・武田スミヨ・世古高滋・  
中川和子・水谷英男  
他にも匿名で頂戴しております)

物品寄付ご芳名 敬称省略)

岩城央生・大谷勲・水谷英男  
中川和子・山野弘子・橋本達幸  
神廣かよ・岡美智代  
中野智恵子・本田敏  
堀内美志子・武田スミヨ・森田知恵子  
早崎喜代子・西村郁三・中村豊子  
西組・丹生大師・高田短大  
株小山・三光運輸株・マルエイ  
三重義肢製作所・富士電設備  
(有)でんきや・株トモ  
アンサーロックサービス  
他にも匿名で品物頂戴しております)

機関紙ひだまり第四十五号を発行させていただきます。ご一読いただければ幸いです。宜しければ聖愛園とサニープレイスのブログ☆活動日記☆もご覧下さい。

<http://seiaien.exblog.jp/>  
<http://sunnysewa.exblog.jp/>

編集 聖愛園

事務員 田所有須

